



いいし、しかもかつこいい。こちらはまさに出番なしって感じですよ。

実はそんな話をするわけではなく、歯の強さの話です。人によって歯の根の長さが違います。もともと持って生まれた長さもありますし、慢性的な炎症で吸収されて短くなることもあります。また、歯が浮き出てきて根の一部が外に露出してしまい、歯ぐきに埋まっている量が減ることや

歯周病で歯を支えている骨が下がることで結果的に根が短くなることもあります。

一方、外に出ている歯の頭の部分の高さ(長さ)は決まっています。だって相手の歯と接触しなければならぬのですから。つまり、歯の根の

長さや頭の長さは物理的に決まっているのです。もちろん根の長さが長く、頭が短いほど歯は安定します。

むし歯などを放置してしまい、根の周囲が慢性的な炎症を起こして元々の根の長さより短くなってしまいう方がいます。だから差し歯ができませんという話ではないのです。例えば上の歯の根が短くなってしまっても、下の歯との距離が短ければ再び差し歯が作れるかもしれませんし、距離が長ければ根を使えないこともありません。

もちろん個人差も大きく、元々の根の長さが長い方は、炎症などで根が多少短くなっても問題なく利用できることがあります。逆の方では抜歯適応になってしまいうこともあります。ま、根を大切にしておけばいいのですけどね。

さて、最近の若者の八頭身化傾向、歯医者のには「あり」かと。「ここでも短足胴長時代ではないようです。

出版

前回、「愛は自転車に乗って」という本(再版)を出して二年近くたつのですが、ようやく第2弾が出そうです。今回はちょっと趣を変えて装丁などは少しコンパクトにして価格をおさえて販売できるようです。第1弾はまさに文芸書でしたが、今回は同様な構成ですが実用書として利用できることを目的としています。ちなみに原稿は第5弾くらいまで終わっているので今後を今期待ください。